207
855

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

朧染浮名之色衣前編

墨春亭梅麿作

五雲亭貞秀画

天保乙未春　蔦屋吉蔵板

朧月夜の内侍ゑ。花乃宴ふその名薫つ。朧富士の編笠ハ
焼印ふそれ名消む。左有ど此朧染いおぐろ豆腐ろ。柏ゑ冑
振ふ白ふ饅頭のひと甘口ふ口調るまバ。智恵ハ三文八文
合目笑くもちがろ書ふ。此所をどうしてゑ漢乃
兄弟容姿の似ふ。彼張伯階ゑ故事ふ連ふ巻
筆妻ゑ鹿言葉のあゑ杜若ふぐれ兄ゑ弟ゑ書て
つくくふ稿るれど画工をちくくに筆拍子。梅とさんく櫻木の
榮ゑ美ふ祝詞く序を。

天保六乙未初春　墨春亭梅麿記

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

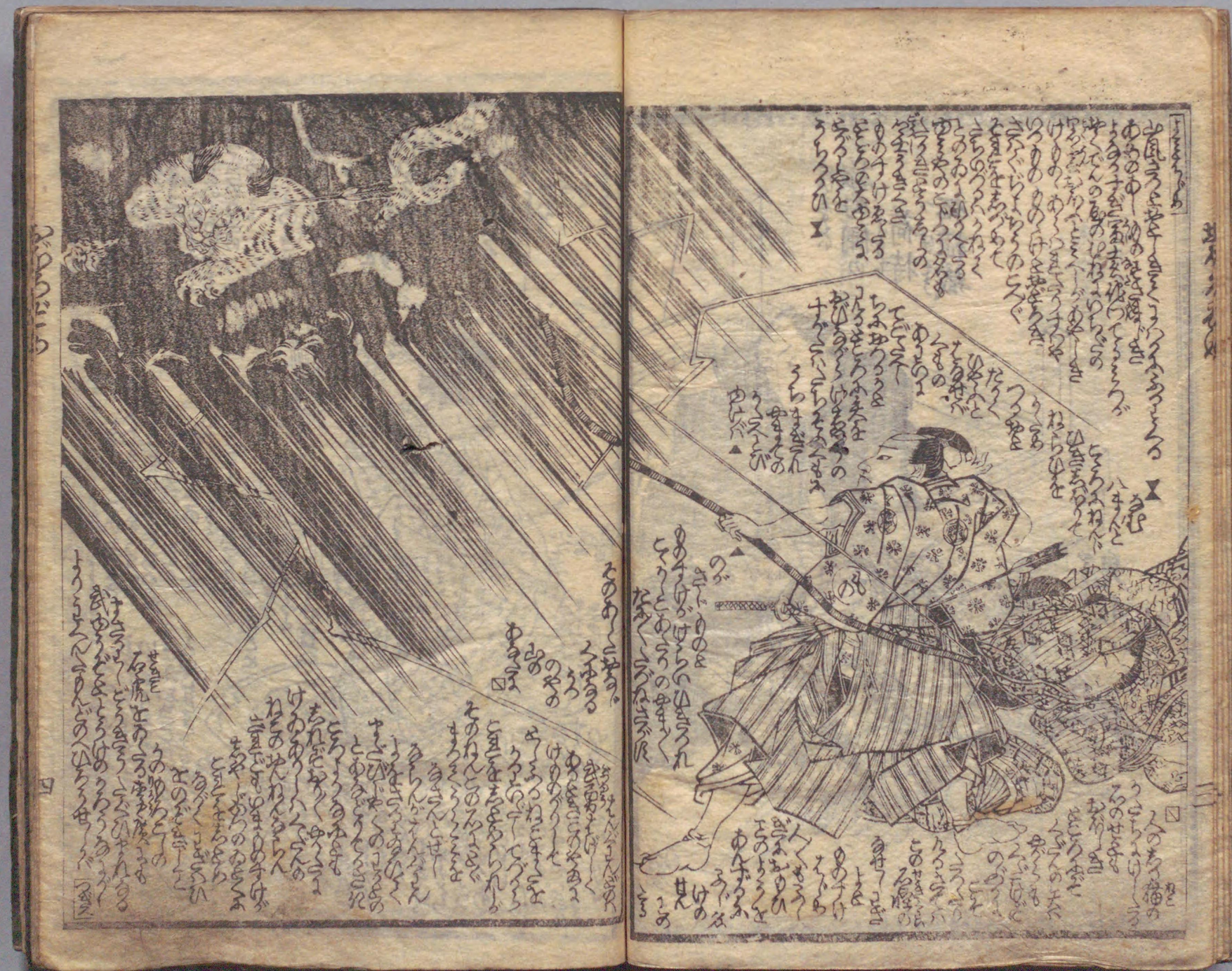
ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用



国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

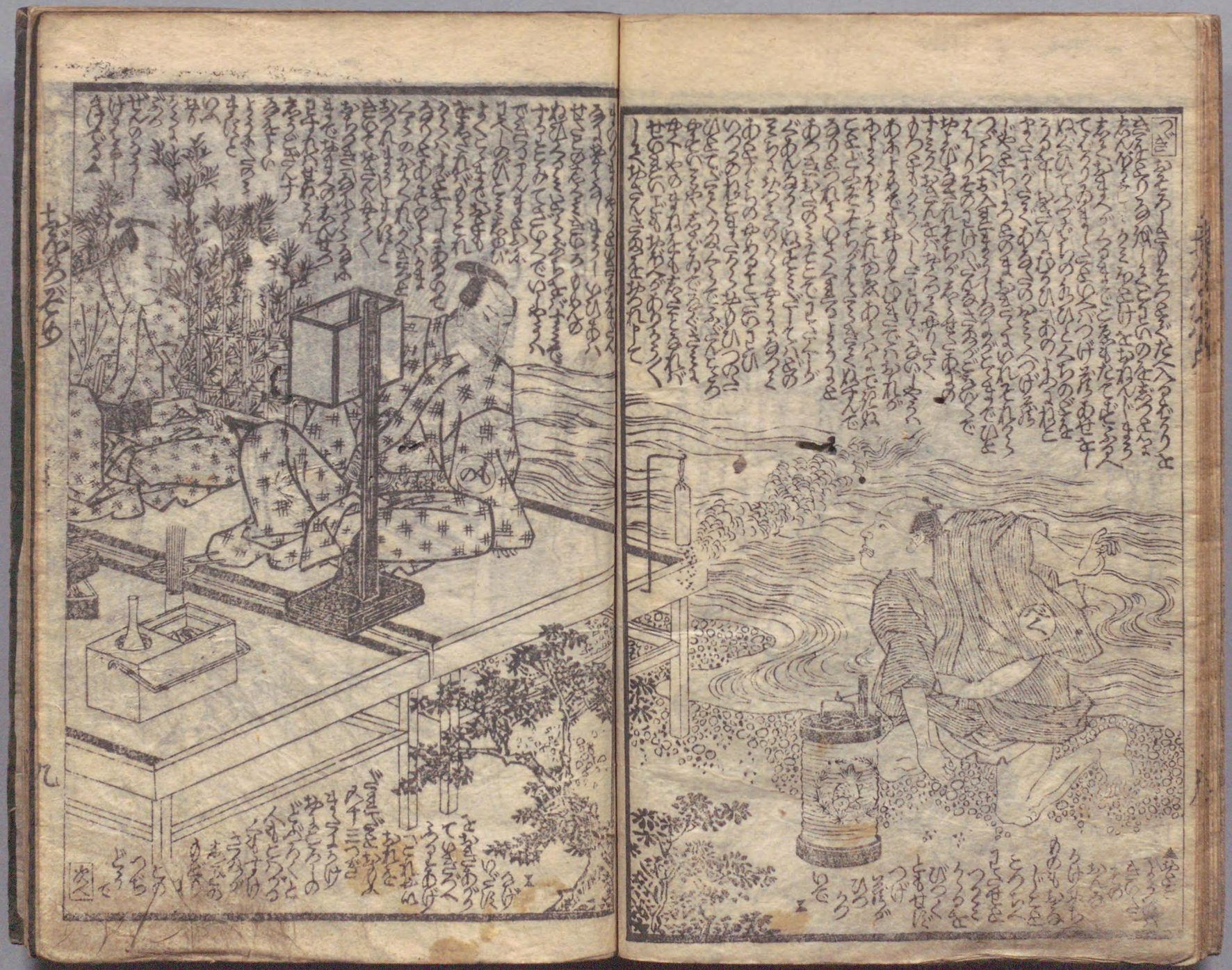
ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

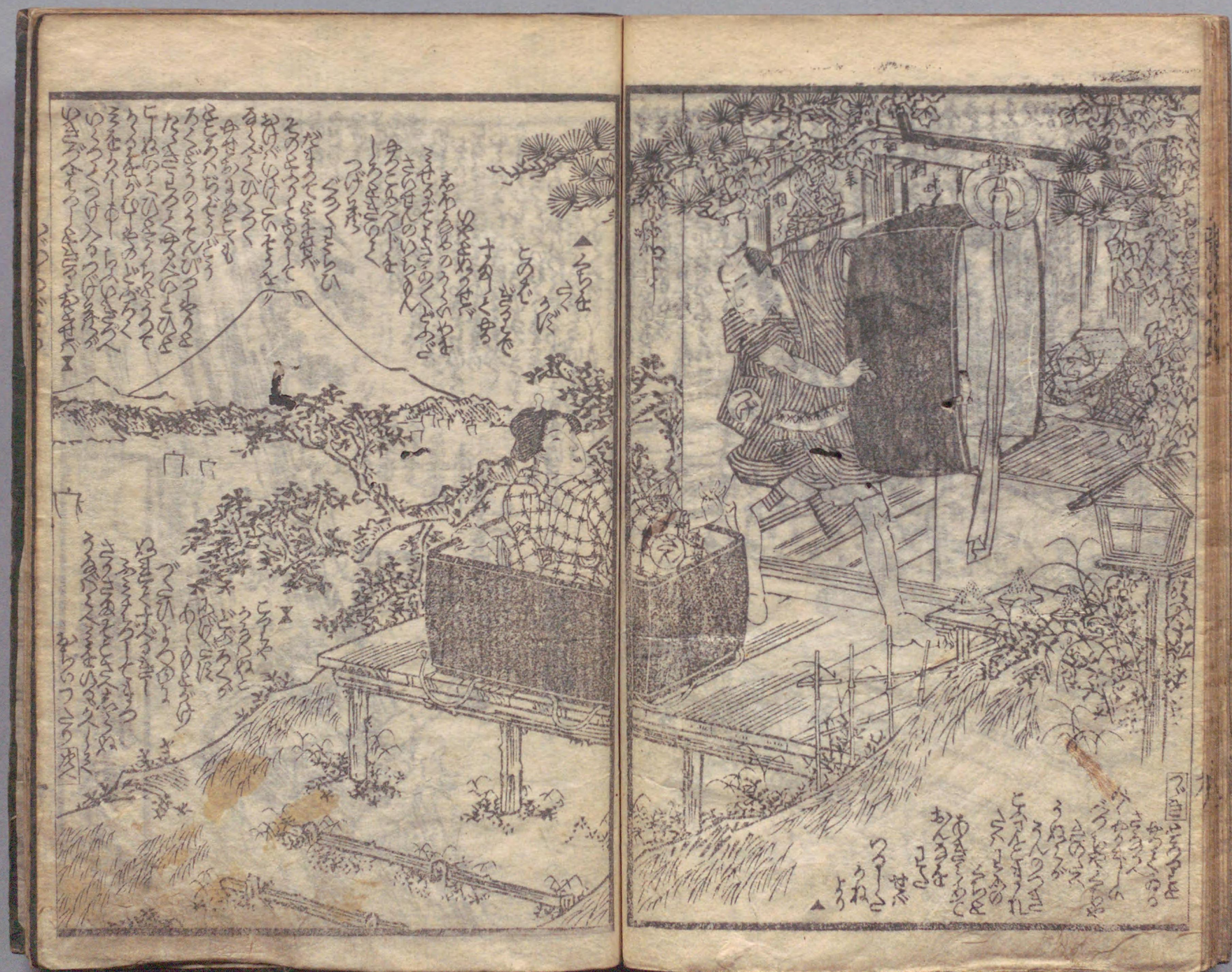
国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用



国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用



国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

寐小便の大奇藥

一包代銭三百銅

此御薬ハいかほど年久敷病症にても大人小児男女とかぎらず注下包にて治る事奇とやいはん妙とやいはん是まで諸人にしらねど已に用る事一人も治せずといふものなし依て諸人のたすけのために弘め世にひろめ海内の男女寐小便するものとおもへば世の中に此妙薬とはちがひすこしもいつはりなく奇妙不思議の良方なれば寐小便のやまいをせんじ用ひて其病苦をたちまちすよべし

本家調合所

書物屋 北林堂 西宮弥兵衛

江戸中橋廣小路町

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855
ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

207
855

天保六乙未新版稗史類

合鏡蔦錦繪　折亭種彦作　香蝶楼國貞画　全冊

髪結蝶吉郎　藝子蝶吉　銀金具蝶結飾　墨春亭梅麿作　貞齋泉晁画　全冊

風亭馬流作　歌川國芳画　全冊

忠臣藏替伊呂波三編　墨川亭雪麿作　香蝶楼國貞画　全冊

仙女香　一下色　四八頭　天玄香

京橋南傳馬町一丁目　紅英堂蔦屋吉藏版　発所　坂本氏

おそめ茂平　瞼染浮名之色衣　墨春亭梅麿作　五雲亭貞秀画　全四冊

夕霧伊左衛門　松藤屋揚雛形　墨春亭梅麿作　歌川景松画　全冊

平三柳暦春朝妻　墨春亭梅麿作　歌川景松画　全冊

平雲楼松人作　歌川景松画　全四冊

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用

国立国会図書館　朧染浮名之色衣 4巻 207-855

ガラス使用